

## 2024年度 経済学部 FD 活動報告

### 1. 学生対象

#### (1) 「学生生活とその成果に関するアンケート」

毎年4年次生を対象として行っている学生生活とその成果に関するアンケート（以下、学生生活アンケート）を2024年度も実施した。このアンケートでは、昨年度と同様、大きく「進路」、「卒業論文」、「学生生活」、「経済学部の教育」の項目について20個程度の質問項目を設定している。このアンケートの結果はFD委員によって分析され、その内容は2025年3月10日の第4回経済学部FD研修会において報告された。また、毎年この結果と分析をふまえて次年度の経済学部研修会の議題を設定している。

#### (2) 「経済演習制度」

経済学部では3年間のゼミ活動が必修として義務づけられている。1年次には、経済基礎演習において担当教員の指導を受け、議論の仕方や資料検索の方法、論文・レポートの書き方などを学び、全てのゼミで春学期に「書評」または「修了レポート」を、秋学期に「修了論文」を提出することとなっている。

3・4年次には、経済専門演習において2年間、同一の教員から専門的な指導を受け、最終的に卒業論文の作成へと結びつけている。この2年間の内に、国内外の他大学との研究発表会やインターゼミと呼ばれる活動を行うなど対外活動に取り組むゼミナールも存在している。学生生活アンケートでは91.9%が3年間の経済演習制度に「非常に満足」、あるいは「まあまあ満足」と回答していた。

#### (3) 「能力別クラス編成」

2009年度から「経済学のための数学」で、2012年度から「ビジネス英語」と「時事英語」で能力別クラス編成を実施している。受講生の状況に応じて到達目標や教授方法に差異を持たせることで、きめ細かな指導が可能となっている。学生生活アンケートでは、多くの学生（「経済学のための数学」に対しては92.6%、「ビジネス英語」「時事英語」に対しては83.3%）が能力別クラス編成に「非常に満足」、あるいは「まあまあ満足」と回答していた。

#### (4) 「経済学部オリエンテーション」

3/31と4/1の2日間、新入生に対して学部長講話、経済学部のカリキュラム説明、1年次のゼミガイダンス、第1・第2クォーターの履修登録指導、数学テストといった内容の新入生ガイダンスを実施した。また、4月17日に経済学部新入生を対象とした経済学部での学び方講座を実施した。新入生にとっては最初に大学と関わる場であり、これらの行事を通じてカリキュラムのねらいやゼミの内容、学生生活上の留意点、進路決定に向けた心構え等について説明を行っている。

(5) 「経済学生論集」

指導教員から推薦された個人やグループによる論文を、『経済学生論集』（南山大学経済学会発行）としてまとめており、2024年9月に第38集が刊行された。また、論集の最後には、2023年度に提出された全ての卒業論文のタイトルが記載されている。

(6) 「学部長表彰者との懇談会」

毎年5月に、成績優秀者に対する学部長表彰式の後に、学部長と学科長が表彰を受けた学生との懇談を行っている。ここで集められた意見は教授会や学部研修会などで報告され、必要があればそれに対する改善提案がなされている。

## 2. 教員対象

(1) 第1回経済学部FD研修会（7月10日）

これまでの教授会資料、2度の全学FD、ベネッセによるAT(GPS-Academic)説明会の資料等を紹介しつつ、新たな経済学部DP(ディプロマポリシー)に基づく、今後のCM(カリキュラムマップ)作成のための情報共有と意見交換をおこなった。

(2) 経済学部研修会（第2回経済学部FD研修会：9月5日）

6時間程度の時間を使い、「経済学推薦入試に係る今後の方針について」、「高大連携の学科展開モジュール結果について」、「入試種別による成績追跡調査について」、「学部入試関連の諸事項について」、「カリキュラムマップとDPについて」「経済学のための数学のクラス編成について」「学び方講座について」「教職(商業)科目について」「経済英語海外研修について」等の話題について、集中的に議論をおこなった。

(3) 第3回経済学部FD研修会（12月11日）

株式会社ベネッセi-キャリアの赤松亮子様を講師としてお招きし、経済学部生のAT結果説明およびその使い方についてのご説明いただき、これらについての教員からの質疑応答と議論をおこなった。

(4) 第4回経済学部FD研修会（3月10日）

「学生生活アンケート」の分析結果について報告・議論が行われた。今年度も、2023年度と同様に、「進路」、「卒業論文」、「学生生活」、「経済学部の教育」に関する項目について、アンケート結果を集計・分析し、学生の学生生活の実態についての情報共有をおこない、意見交換の場をもった。

なお、上記の2023年度の経済学部FD活動について、半期ごとに、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッションポリシー）の内容を再確認したうえで、全てのFD活動が、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づく活動であったことを確認した。